

第130期労働学校

11月6日13日20日

19時
～20時30

学びのテーマ

今回の労働学校は

- ①日本経済と国民の暮らしの実態と仕組みを知り
- ②そこには日米安保条約がどう関わっているのかを知り、
- ③私たちの暮らしと権利が守られ、平和な社会を実現するにはどうしたらよいか改革の展望を学ぶことをめざします。

新しい内閣総理大臣は所信を問われ「自助・共助・公助」と言いました。まずは自己責任、そして家族や仲間で支え合え、そして国の役割は最後の最後ですよ。という「自己責任論」を表明しました。日本社会は戦後から一貫してこの「自己責任」による弱者切り捨ての政治が続いています。コロナ禍により「社会とは何か、公共とは、政治の役割ってなんだ？」という思いがなくて広がっています。今回の労働学校で、現状と原因、そして打開の展望を一緒に学びましょう！

3回通しての受講をお勧めしています(*'▽')b

講師と科目と参加方法

今回は「オンライン」と「会場」との併用で開催します。

- ◎「会場」受講の方は、以下の会場にお越しください。
横浜市中区桜木町3-9横浜平和と労働会館4階会議室
※マスク着用をお願いします
※受講料は無料です

一日目（11月6日金曜日）

「格差・貧困の実態を知り、打開の道を探る」

講師 高井一聴さん（横浜市従労組執行委員・ケースワーカー）

オンライン参加登録➡



二日目（11月13日金曜日）

「日米安保条約とはなにか。」

「日本社会との深い関係性を知る」

講師 川田忠明さん（日本平和委員会常任理事）

オンライン参加登録➡



三日目（11月20日金曜日）

「日本国憲法を知り、変革の立場で展開する」

講師 太田伊早子さん（弁護士）

オンライン参加登録➡



連絡先

第130期労働学校実行委員会

事務局・神奈川県労働者学習協会
横浜市中区桜木町3-9平和と労働会館5F
TEL:045-201-4002 FAX:045-201-6243
e-mail kgakusyu@ruby.plala.or.jp

